

## 輪島塗復興プロジェクト関連特別展 輪島塗 ー漆文化を後世にー



前大峰《庭の草道沈金彫手箱》  
ー「輪島塗ー漆文化を後世にー」よりー

■ 武の装いⅠ 【前田育徳会尊經閣文庫分館】

■ 古九谷・再興九谷Ⅰ 【古美術】

■ 第118回日展金沢展

- 「雉香炉の部屋」リニューアルオープン
- ミュージアムショップからのお知らせ
- 館内設備の更新について
- 今年度もお届けします「学芸室こぼれ話」
- 6月の行事予定
- 令和8年度の展覧会スケジュールパンフレットを配布中！

## 企画展(第7～9展示室)

# 輪島塗復興プロジェクト関連特別展 輪島塗 —漆文化を後世に—

主催/石川県立美術館、北國新聞社 企画協力/そごう美術館 特別協力/石川県立輪島漆芸技術研修所、石川県輪島漆芸美術館、輪島塗技術保存会  
後援/NHK 金沢放送局、MRO北陸放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送、石川テレビ放送

6月27日(土)～8月2日(日) 会期中無休

日本を代表する漆芸「輪島塗」。

それは、木地づくりから沈金や蒔絵などの加飾にいたるまで様々な制作工程を、幾人もの職人や作家が卓越した技を繋いで作り上げられています。たくさんの手を通して仕上げられた品は、非常に高い耐久性を持つ、実用性も兼ね備えた芸術であると言えます。輪島を中心に生産される漆器は、木地を補強するための「布着せ」をおこない、地元産出の珪藻土「地の粉」を漆に混ぜ、下地に何度も塗り重ねることとで、ほかの漆器にはない強度と高い耐久性を実現しました。その上、艶のある漆の肌で仕上げた面に、さらに蒔絵や沈金などの装飾も施され、堅牢さのうえに美しさを兼ね備えた漆器となります。昭和52年(1977)、漆芸の分野において団体としては初めて重要無形文化財に指定されています。

令和6年(2024)、元旦に発生した大震災とその秋の豪雨は、輪島塗に深刻な打撃を与えました。作業場を失い、道具を失い、そして人が失われ、職人等の離職が相次ぎました。

あれから2年半。今、輪島では、これまでにない新たなかたちでの「輪島塗復興」の胎動が始まりつつあります。

本展では、輪島塗の制作工程に光をあて、工程・制作見本から幾重にも積み重ねられた高度な技を特徴とする輪島塗のすばらしさを紹介するとともに、そうした技を絶やすことなく後世にも繋いでいくようにとの思いを込めたものとなりました。最終章ではこれからの担う中堅や若手の作品を展示し、未来への「技のバトンリレー」の応援メッセージとなることを目指しています。これまで見てきた視点とは異なる新しい見方で「輪島塗」の世界をご覧ください。

### 【展覧会構成】

#### 第1章 堅牢優美な漆芸「輪島塗」

##### 1. 歴史と特徴

##### 2. 制作工程・見本

#### 第2章 継承されてきた練達の技

##### 1. 積み重ねられた高度な技

##### 2. 至高の漆芸

### 第3章 高度な技を後世に

#### 1. 輪島からはばたく作家たち

#### 2. 輪島漆芸技術研修所卒業制作から (震災以降)

### 【観覧料】

一般 1,000円(800円)

大学生 800円(600円)

高校生以下無料

※( )内は20名以上の団体、及び65歳以上の料金

※2階コレクション展観覧料を含む

※身体障害者・精神障害者保健福祉・療育手帳をお持ちの方、またはミライロIDをご提示の方、および付き添いの方1名は観覧無料

### 【関連行事】

・ギャラリートーク

各回13時30分～(30分程度) 企画展示室内

6月28日(日)、7月5日、12日、19日、26日(日)

要観覧料・申込不要

輪島の人間国宝をはじめとする作家の方々が展覧会の見どころを紹介します。

・トークショー

各回13時30分～15時 美術館ホール

6月27日(土)、8月1日(土) 参加無料

輪島の中堅・若手作家の方々などが輪島塗

の現在と未来について語ります。

・土曜講座

13時30分～15時 美術館講義室

7月11日(土)「スライドトーク」

寺川和子(当館学芸第二課長)

参加無料・申込不要



1 木地工程



2 下地工程



3 塗工程



4 呂色工程



5 加飾工程

## 古九谷・再興九谷 I

6月6日(土)~6月21日(日) 会期中無休

黄・緑・紫を主とし、紺青と赤を補彩として使用する「九谷焼」は、日本の色絵陶磁を代表するやきものです。そのはじめは、江戸時代のはじめ、現在の石川県加賀市山中温泉九谷町において焼かれたとされ、それら初期のやきものは「古九谷」と呼ばれます。本館では、ご来館くださる方々がいつも古九谷はご覧になれるよう、常に12点展示しています。今回の特集展示は、いつもより多くの九谷焼をご覧いただくため、「再興九谷」とよばれる江戸後期に加賀を中心に栄えた九谷焼もあわせて、全49点を紹介するものです。(I期は44点、II期は49点の紹介となります) 今号から3回にわたって、展示作品を紹介します。

《色絵百花散双鳥図平鉢》古九谷 「平鉢」との名称がつきますが、比較的深さのある形状で、外に広がる周縁部は、菊・瓢箪・尾長鳥の模様で埋め尽くす「百花



石川県指定文化財《色絵百花散双鳥図平鉢》古九谷

## 武の装い I

6月6日(土)~6月21日(日) 会期中無休

前田育徳会尊經閣文庫分館では、8月3日まで特集展示「武の装い」を開催します。加賀藩前田家に伝わる武具の中から陣羽織・鞍や鏡のほか、刀掛や脇息などもあわせて公開します。6月21日までをI期、6月27日からをII期として一部展示替えを行います。が、今号ではI期に紹介する作品をご案内します。

刀掛は、太刀などの刀を美しく安全に掛ける台で、機能性と安全性だけでなく、刀を入れた拵を美しく見せる質の高さが求められました。木に漆が塗られ、地に細かく金粉を蒔いた梨子地のものや、蒔絵で模様様が施されたものもあります。今回は4点を紹介しますので、それぞれの特徴をお楽しみください。

《黒塗波千鳥蒔絵刀掛》 刀を掛ける側面に千鳥模様、正面に波を受ける岩肌が蒔絵で表現されています。側面は二段で、刀を三振掛けられるようになって

おり、禽獣の角のような形状をしています。

《村梨子地剣梅鉢紋散刀掛》 一振しか掛けられませんが、正面は前田家の家紋である剣梅鉢紋が散らされています。地は霞のように金粉が蒔かれた梨子地で、華やかです。

《紫檀鷹蒔絵刀掛》 二振掛けられます。正面の表と裏の図柄は異なり、表には二羽の鷹が蒔絵で施されています。

《黒塗梅鉢松唐草刀掛》 一振用のシンプルな刀掛ですが、正面に梅の透かし模様が入り、梅と唐草模様を全体に施した華やかな刀掛です。

その他、ひじ掛けである《梨子地松竹梅蒔絵脇息》を紹介いたします。



《村梨子地剣梅鉢紋散刀掛》

## 第3～6展示室

# 第118回日展金沢展

主催／北國新聞社、公益社団法人日展、日展石川会 後援／石川県、金沢市、石川県教育委員会、金沢市教育委員会、一般財団法人石川県芸術文化協会、一般財団法人石川県美術文化協会、NHK金沢放送局、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななほ

6月6日(土)～6月21日(日) 会期中無休

日展は長い伝統を持ち、所属作家層の厚さと優れた作品で知られ、日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の各分野を網羅し、わが国最大・最高水準の総合美術展として親しまれています。

明治40年の文部省第一回美術展として発足以来、その時々の改革を重ねながら、常にわが国美術界の中核として日本美術界文化に貢献してきました。県内開催は4年ぶりとなります。

東京の本展出品作の中から、文化勲章受賞者、日本芸術院会員、日展理事、会員などの秀作と各賞受賞作品、県内在住及び出身作家の力作を一堂に展示します。

### ◇主な出品作家(五十音順・敬称略)

〈日本画〉  
河村源三、土屋禮一、中村徹、福田千恵、松崎十朗、村居正之、山崎隆夫、渡辺信喜

〈洋画〉  
小灘一紀、佐藤哲、斎藤秀夫、寺坂公雄、西田伸一、町田博文、湯山俊久

〈彫刻〉  
池川直、神戸峰男、中村晋也、能島征二、宮瀬富之、村井良樹、蛭田二郎、山瀬晋吾、山田朝彦、山本真輔

〈工芸美術〉  
浅蔵興成、井隼慶人、大樋年雄、奥田小由女、武腰一憲、中井貞次、春山文典、千田浩、三田村有純、宮田亮平、森野泰明、山岸大成、吉賀將夫

〈書〉  
井茂圭洞、黒田賢一、高木聖雨、土橋靖子、星弘道、真神巍堂

### ◇作品解説日程

	AM(午前) 10:30～11:30	PM(午後) 13:30～14:30
6月8日(月)	工芸美術 大樋 年雄	日本画 土農 力
6月9日(火)	洋画 穴畑三千昭	彫刻 江藤 望
6月10日(水)	工芸美術 木谷 陽子	書 中田 聡山
6月11日(木)	日本画 松崎 十朗	洋画 児島新太郎
6月12日(金)	彫刻 中口 一也	工芸美術 角 康二
6月15日(月)	書 南部美紀子	日本画 仁志出龍司
6月16日(火)	洋画 青木 良識	彫刻 新澤 博志
6月17日(水)	工芸美術 藤藁 隆	書 宇多 青沙
6月18日(木)	日本画 佐藤 俊介	洋画 本山 二郎
6月19日(金)	工芸美術 戸出 克彦	彫刻 石田 陽介

### ◇観覧料

	小学生	中学生	一般		
	600円	900円	1,200円	当日	
	500円	800円	1,100円	前売り	
	400円	700円	1,000円	団体	

※友の会会員は、会員証掲示により団体料金

### 【展覧会事務局】

〒920-8588  
金沢市南町二番一号  
北國新聞社事業局内  
第118回日展金沢展事務局  
電話・076-260-3581



大樋年雄 (会員・審) 《古代窟・Ancient Palace》



武腰一憲 (会員)  
《雲の器・静日》



山岸大成 (会員)  
《白き神々の座》

# 「雉香炉の部屋」リニューアルオープン

国宝《色絵雉香炉》と重要文化財《色絵雌雉香炉》の展示室が装いを新たにしました

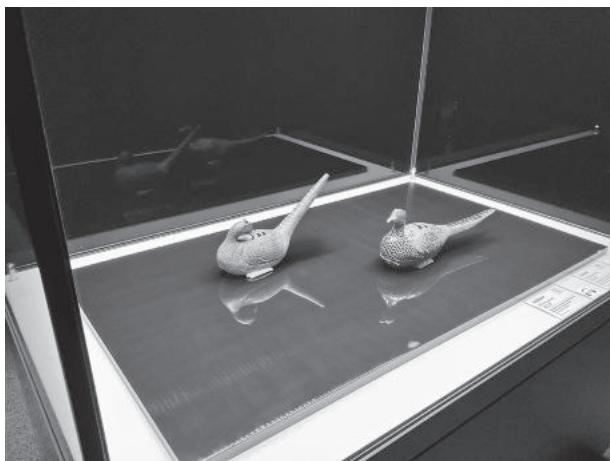
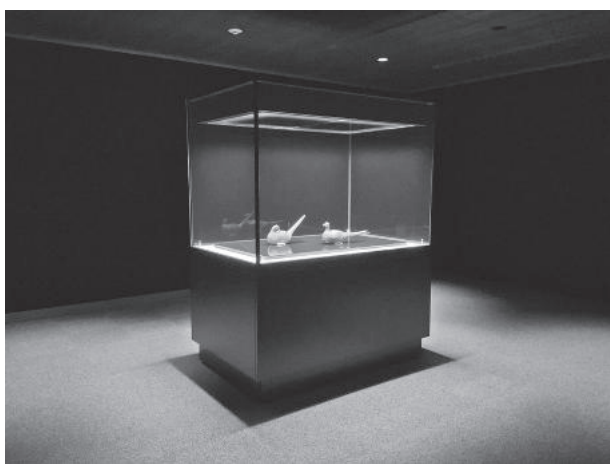
国宝《色絵雉香炉》と雌の重要文化財《色絵雌雉香炉》。言わずと知れた石川県を代表する名宝です。17世紀に京で活躍し、自らを陶芸家と認識した初期の人とも言われる野々村仁清の代表作です。日本で作られた陶磁器で国宝に指定されているものはわずかに5点、そのうちの1点がこの雄の色絵雉香炉です。まさに工芸王国・石川にふさわしい名品と言えます。

この2羽の雉の展示ケースは、当館がこの地に建設される前の旧館時代から50年余りの長きにわたって使われてきたもので、その更新が積年の課題となっていました。このたび、最新のものによりリニューアルいたしました。

新たな展示ケースは、外気を遮断し、内部の湿度を一定に保つエアタイト（密閉）構造となっており、高透過ガラスや調光・調色が可能なLED照明を採用し、ガラスが鑑賞の邪魔にならないほか、周りのものがガラスに映り込むことが少なくなりました。

また、展示室もこれまでのアイボリーホワイトの壁面を濃紺のシックなものに一新、上質感と没入感のある空間に全面リニューアルいたしました。解説板などは室外に出し、部屋の中は展示ケースのみ。薄闇のなかで柔らかな光に照らされ浮かび上がる雉香炉二つ。是非ともご覧ください。

400年にもわたる悠久のときをかけ現代に伝えられてきた雉・雌2羽の雉。新しい「巣箱」の中で、これからも睦まじく、末永く、ときを重ねていってほしいと思っています。



## ミュージアムショップからのお知らせ

石川県立美術館のミュージアムショップでは、当館収蔵品をモチーフにしたグッズや展覧会図録、古九谷の写しなど、バラエティ豊かな商品を取り揃えています。今回は新作ポストカードをご紹介します。当館でしか手に入らないオリジナルグッズです。

「鴨居玲作品ポストカード」全8種（1枚100円）

「没後40年 鴨居玲展 第2弾 写真」真の中の鴨居玲」の開催記念として、鴨居玲作品のポストカードを制作しました！これまでにご用意していたデザイン4種をリニューアルし、新作4種を加えた全8種類を展開しております。少し固い紙質で、風合い、書き味にもこだわり、触り心地のしつかりとした仕上がりになりました。鴨居作品、ポートレートをぜひ身近でもお楽しみください。



ほかにも九谷焼文様のマスキングテープ、加賀友禅文様のポチ袋…など、石川ならではの人気商品をお取り扱いしております。

通信販売（送料別）も承ります。お問い合わせは左記の宛先までどうぞ。

石川県立美術館総務課

ミュージアムショップ担当

電話…076-231-7580

ショップのご案内

<https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/guide/shop/>

## 館内設備の更新について

このたび、館内の手荷物用ロッカーおよび正面入口の傘立てを新調いたしました！

身軽にご鑑賞いただけるよう、コイン式ロッカー（無料）をミュージアムカフェ「ルミューゼ ドゥ アツシユ KANAZAWA」横および2階コレクション展入口付近に設置しております。ロッカーは従来より使いやすい仕様となり、お荷物の一時保管に便利にご利用いただけます。大型のお荷物はエントランス総合案内でのお預かりも可能ですので、お気軽にお申し出ください。

また、傘立ても以前と同様に出入口付近に設置し、雨天時でもスムーズにご入館いただけるようにいたしました。

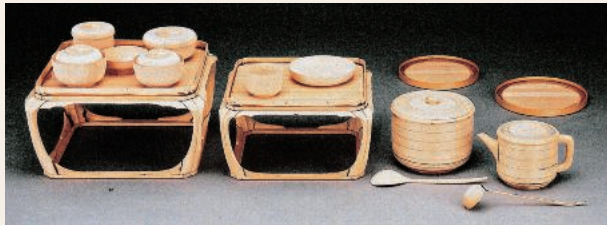
引き続き、ご来館の皆さまに快適にお過ごしいただけるよう、努めてまいります。





会期：令和8年6月27日(土)～8月2日(日)

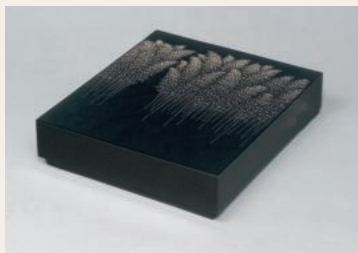
会期中無休



《檜懸盤木地一式》(1990) 石川県輪島漆芸美術館蔵



《菊文蒔絵沈金懸盤一式》(1990) 石川県輪島漆芸美術館蔵



《沈金箱「十六夜」》(2000) 前史雄  
式年遷宮記念神宮美術館蔵



《春秋文様小判形弁当箱》(1983)  
輪島塗技術保存会蔵



《日月四季花鳥蒔絵短冊箱》(2003)  
輪島塗技術保存会蔵



《遊々Ⅱ》(2002) 三谷吾一  
式年遷宮記念神宮美術館蔵

## 次回の展覧会

令和8年6月27日(土)  
～8月3日(月)

		前田育徳会 尊経閣文庫分館	第2展示室
		武の装いⅡ	古九谷・再興九谷Ⅱ
第3・4展示室	第6展示室	第5展示室	企画展示室
優品選 【近現代絵画・彫刻】	1950年代の 日本画	みんなでのしむびじゅつかん 何をのせる? 何をいれる?	輪島塗 —漆文化を後世に— 6月27日(土)～8月2日(日)

## ご利用案内

### コレクション展観覧料

一般 370円(290円)  
大学生 290円(230円)  
高校生以下 無料  
※( )内は団体料金  
6月1日は第1月曜日より  
コレクション展示室無料の日

### 開館時間

午前9:30～午後6:00

### カフェ営業時間

午前10:00～午後6:00

6月の休館日は  
2日(火)～5日(金)  
22日(月)～26日(金)

石川県立美術館だより  
第512号(毎月発行)  
2026年6月1日発行

〒920-0963  
金沢市出羽町2番1号  
Tel:076(231)7580  
Fax:076(224)9550  
URL <https://www.ishibi.pref.shikawa.jp/>

石川県立美術館は電源立地地域対策  
交付金を活用して運営しています。

広告



広告代理店が運営する 大人のためのデザインスクール

キテンスクールの  
オンライン授業なら...

- 01 | オンラインで好きな時間にマイペースで学べます
- 02 | スキルアップ・副業・趣味に活かせます

キテンスクール 〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目14-17-501 tel:072-668-3275 株式会社ウィット



詳しい資料の  
ご請求はこちら

